

TOCHIKEN



「松田川ダム30周年記念」松田川ダムリバースグラフィティプロジェクト（写真提供：栃木県）

松田川ダム竣工30周年を記念し、高圧洗浄機を使ってダム堤体下流側の汚れを落とし、巨大なダムアートを浮かび上がらせた、栃木県とケルヒャージャパン(株)の共同事業

巻頭言	①
令和8年度定時総会	②
新役員一覧	③
就任挨拶	④
栃木県人事異動	⑤

特集

栃木県が推奨する簡易型で ICTをもっと身近に	⑦
----------------------------------	---

令和8年度「経営者講習会と通常総会」開催	⑫
〈栃木県建設業協会青年経営者連合会〉	
建設業の時間外労働〈栃木労働局〉	⑬
栃木県におけるICT活用工事の普及に関する 取り組みについて〈栃木県県土整備部技術管理課〉 Topics	⑮
続・とちぎのサムライvol.34	⑲
全国津々浦々 お城めぐりの旅 インフォメーション	⑳

一般社団法人 栃木県建設業協会



「変化に挑み、未来を築く – 地域建設産業の持続可能な発展を目指して –」

一般社団法人栃木県建設業協会

会長 谷 黒 克 守

はじめに、令和8年度定時総会を無事終了することができました。会員の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。

また、私をはじめ、副会長につきましても全員が再任され、新たな任期を迎えることとなりました。再び会長の重責を担うこととなり、誠に身の引き締まる思いでございます。引き続き、誠心誠意協会運営に当たって参りますので、今後も変わらぬご支援をいただきますようお願い致します。

さて、昨年は、多様かつ激甚な自然災害が全国各地で相次ぎました。これらの災害に対し、緊急対応や復旧の最前線で尽力してきた我々建設業は、まさに「地域の守り手」であり、地域社会の安全と安心を支える不可欠な存在として、その社会的使命はこれまで以上に重みを増していると強く感じております。

一方で、中東情勢の緊迫化やエネルギー価格の上昇などの影響により、建設現場では資材の調達遅れや工期の圧迫といった影響も生じており、我々建設業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

建設業協会と致しましては、これら社会状況の変化を的確にとらえ、直面する諸課題に果敢に取り組み、先行きの見通せる持続可能な建設業界発展の基盤構築に向けて、新しい時代にふさわしい「構造改革」を更に推進して参りたいと考えております。

そのためには、健全で安定した経営を継続的に行う必要がありますので、十分な公共事業予算の確保や受注機会の拡大に向けて、国や県等に対して積極的に要望活動を展開して参ります。また、国の防衛関係予算が大幅に増額されたことを受け、「防衛施設強化推進協会」に参画し、防衛施設整備に多くの県内企業が参画できるよう働きかけて参ります。さらに、「八溝縦貫道路」や「東大芦川のダム」などの大規模事業が確実に具現化され、推進されるよう国や県に対し強く働きかけて参ります。

また、人口減少に伴う担い手不足については、地域建設業の存在を脅かす事態となっております。このため、将来の建設業界を担う人材の確保と育成を図るべく、県が設立を目指す「インフラトレーニングセンター」の早期実現に向け、県と検討を進めるほか、女性にとって魅力ある業界となるよう「女性部会」の設立を検討して参ります。さらに、建設業界が若者から入職先として選ばれる魅力ある業界となれるよう、処遇改善など「働き方改革」を進めるとともに、あらゆる機会を通して建設業の魅力発信に努めて参ります。

その他、協同組合の事業に関しましては、共同受注に関する様々な課題解決に努めるとともに、運用改善を図りながら更なる発展を目指して参ります。特に、今年度冬季に、県北地域において除雪に関する「地域インフラ群再生戦略マネジメント」を試行できるよう、関係機関と検討・協議を進めて参ります。

以上、真に会員皆様のためになる協会事業を推進し、皆様にとって羅針盤的役割を果たせるよう努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

令和8年度「定時総会」開催

5月26日(火)、ホテル東日本宇都宮において令和8年度定時総会が開催されました。

昨年度に引き続き、ホテル東日本宇都宮において定時総会及び懇親会を開催し、福田富一知事をはじめご来賓の方々にご祝辞をいただきました。また、表彰式につきましても、滞りなく実施することができました。これは、ひとえに皆様のご理解とご協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る312名（委任状を含む）の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで谷黒会長は、全国各地での震災により「地域の守り手」としての社会的使命が重みを増す一方、中東情勢の緊迫化による資材価格の高騰など、建設業界を取り巻く環境が厳しさを増していることから、十分な公共事業費の予算確保や受注機会の拡大、大規模事業の具現化など、構造改革のさらなる推進に向け、国や県等に対し要望活動を展開していく。また、人材確保・育成を図るため、県が設立を目指す仮称「インフラトレーニングセンター」の早期実現に向けた検討や、「女性部会」の設立に向けて取り組んでいく。さらには、共同受注に関する課題解決に努め、協同組合のさらなる発展を目指して参りたいとの抱負を述べました。

次に「一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達」を行い、受賞された22名を代表して小池工業㈱小池仁様が表彰状を受け取りました。続いて「公益財団法人建設業福祉共済団理事長表彰伝達」を行い、受賞された3名・1団体を代表して日光支部支部長榎本美明様が表彰状を受け取りました。最後に「一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰」を行い、長年にわ

たり業務に精励された120名を代表して佐藤工業㈱佐藤豊忠様が表彰状を受け取りました。

その後、議事に入り、第1号議案「令和7年度事業報告及び計算書類承認の件」が原案どおり承認された後、「令和8年度事業計画及び収支予算の件」が報告されました。

続いて、第2号議案「定款の一部改正の件」が原案どおり承認され、これまでの顧問、相談役に加え、新たに特別顧問を設置し協会の体制強化を図ることとしました。第3号議案「役員選任の件」では、役員の任期満了に伴う改選について役員推薦名簿のとおり承認されました。役員改選では正副会長全員が再任されるなど、事業運営の継続性を確保しました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が開催されたほか、5月28日には全中建栃木、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県建設産業団体連合会及び栃木県森林土木建設業協会の総会が開催され、それぞれ令和8年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和8年度 総会の様子

新 役 員 一 覧



会 長
谷 黒 克 守



副会長
菊 池 三 紀 男



副会長
石 川 裕 之



副会長
齋 藤 和 実



副会長
竹 澤 則 男



副会長
坂 野 弘



常任理事 宇都宮支部長
野 澤 充 広



常任理事 鹿沼支部長
宇 賀 神 勝



常任理事 日光支部長
榎 本 美 明



常任理事 芳賀支部長
大 関 好 男



常任理事 下都賀支部長
前 原 正 義



常任理事 塩谷支部長
渡 邊 憲 一



常任理事 那須支部長
岩 見 武



常任理事 烏山支部長
岡 恒 夫



常任理事 安蘇支部長
木 村 光 伸



常任理事 足利支部長
蓼 沼 法 彦

一般社団法人栃木県建設業協会役員名簿

令和8年5月26日

役職名	氏名	会社名	役職名	氏名	会社名
会 長	谷 黒 克 守	(株)谷黒組	理 事	渡 辺 眞 幸	渡辺建設(株)
副 会 長	菊 池 三 紀 男	(株)菊地組	理 事	井 戸 和 廣	井戸産業(株)
副 会 長	石 川 裕 之	石川建設(株)	理 事	齊 藤 一 明	齊藤建設(株)
副 会 長	齋 藤 和 実	(株)齊藤組	理 事	小 金 幹 典	(株)小金建設
副 会 長	竹 澤 則 男	竹沢建設(株)	理 事	佐 藤 豊 忠	佐藤工業(株)
副 会 長	坂 野 弘	(株)丸二工務店	理 事	岡 忠 昭	日向野建設(株)
常任理事宇都宮支部長	野 澤 充 広	(株)野澤実業	理 事	小 林 正 治	光洋建設(株)
常任理事鹿沼支部長	宇賀神 勝	機械建設(株)	理 事	小 嶋 尚	小島土建(株)
常任理事日光支部長	榎 本 美 明	榎本建設(株)	理 事	生 駒 憲 一	(株)生駒組
常任理事芳賀支部長	大 関 好 男	大関建設(株)	理 事	青 木 孝 一	(株)青木建設
常任理事下都賀支部長	前 原 正 義	(株)前原土建	理 事	中 山 靖 之	(株)荒川建設
常任理事塩谷支部長	渡 邊 憲 一	(株)渡辺工務店	理 事	落 合 充 樹	(株)落合土木
常任理事那須支部長	岩 見 武	(株)大岩建設	理 事	久保田 彰 彦	(株)久保田組
常任理事烏山支部長	岡 恒 夫	(株)岡工務店	専 務 理 事	田 城 均	協会本部
常任理事安蘇支部長	木 村 光 伸	(株)下野土木	常 務 理 事	青 木 淳	協会本部
常任理事足利支部長	蓼 沼 法 彦	(株)楯建設	監 事	小 池 仁	小池工業(株)
理 事	荒 井 学	宇都宮土建工業(株)	監 事	杉 山 剛	(株)荒牧組
理 事	渡 邊 幸 雄	中村土建(株)	監 事	真 秀 徹	(株)真進建設
理 事	入 江 誠	大幹建設(株)	監 事	澤 田 真由美	税理士法人澤田会計事務所



就 任 挨 拶

栃木県県土整備部

部長 横 尾 元 央

令和8年度から栃木県県土整備部長に就任しました横尾でございます。

一般社団法人栃木県建設業協会の皆様には、日頃から本県の県土整備行政の推進について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業は、社会資本の整備や保全を担う産業として、地域の経済と雇用を支えるとともに、災害時には初動対応から復旧作業に至るまで、現場の最前線で地域の安全・安心を確保するなど、非常に重要な役割を担っています。皆様には、インフラ整備を行う「地域の創り手」としての役割はもとより、通常の維持管理、訓練を含めた災害対応に加え、近年では豚熱の防疫活動など、「地域の守り手」としても日々御尽力をいただいているところであり、重ねて御礼申し上げます。

さて、県におきましては、県政の基本指針となる「新とちぎ未来創造プラン」に掲げるとちぎの目指す将来像の実現に向け、「県土づくりプラン（2026-2030）」を策定し、取組をスタートさせました。県土づくりの各分野において今後進めていく11の「重点施策」と、建設業における担い手の確保・育成を含めた5つの「横断的施策」を掲げており、頻発・激甚化する自然災害から県民の生命・財産・暮らしを守り、インフラの老朽化などの課題解決を図るため、社会資本整備の加速化を図り、「安全・元気なとちぎを共に創る 未来につなぐ県土づくり」を着実に推進して参ります。

主な取組として、まず、建設業における労働環境の改善を図るため、原則全ての工事を発注者指定型の週休2日制工事の対象とするほか、猛暑対策や、工事着手までの余裕期間を設定した工事の発注による施工時期の平準化に努めるなど、働き方改革に向けた取組を継続して推進して参ります。また、建設現場の生産性向上を図るため、3次元データやICT建機の活用工事を推進しているところであり、令和8年度においては「建設DX推進事業費補助」を新たに創設し、関連機器の導入を後押しするとともに、導入時の相談窓口として「栃木県ICTアドバイザー制度」を創設しました。今後も「とちぎインフラDX構想」に基づき、ICT活用工事への理解促進や人材育成などの普及啓発を図って参ります。

これらの取組に加えて、将来の建設業を支える担い手の確保・育成の中核を担うインフラトレーニングセンターの設置に関しましては、貴協会及び公益財団法人とちぎ技術センターと連携して検討を進めることとしており、令和8年度にはニーズ調査を行い、求められる機能や規模、課題等を整理し、基本計画を策定していきます。

さらに、県では担い手の育成・確保のため、引き続き、資格・技能取得の支援や建設業・建設現場の魅力をあらゆる世代に伝えるなど、建設産業の持続的な発展に向けて取り組んで参ります。

今後とも、県におきましては、本県の将来像である「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」を実現するため、建設業界が直面する課題の解決に向けて「地域の創り手・守り手」である皆様と更なる連携を図って参りたいと考えておりますので、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

栃木県人事異動（新任）

県土整備部



部長
横尾 元央



次長
笹沼 政行



次長
齋藤 勇作



参事兼技術管理課長
細井 俊一



参事兼交通政策課長
橋本 達雄



参事兼栃木土木事務所長
河又 伸一



参事（とちぎ建設技術センター派遣）
塩田 勉

（令和8年4月1日現在）

職 名	氏 名	前 職 名
県土整備部長	横 尾 元 央	県土整備部次長
県土整備部次長	笹 沼 政 行	企業局次長兼経営企画課長
県土整備部次長	齋 藤 勇 作	県土整備部参事兼栃木土木事務所長
県土整備部参事兼技術管理課長	細 井 俊 一	河川課長
県土整備部参事兼交通政策課長	橋 本 達 雄	交通政策課長
県土整備部参事兼栃木土木事務所長	河 又 伸 一	道路保全課長
県土整備部参事（とちぎ建設技術センター派遣）	塩 田 勉	都市整備課長
道路保全課長	大 塚 功 司	上下水道課長
河川課長	須 藤 賢 昌	砂防水資源課長
砂防水資源課長	大 森 寿 章	烏山土木事務所長
上下水道課長	駒 場 洋 明	鹿沼土木事務所長
都市整備課長	佐 野 友 紀	安足土木事務所長
用地課長	只 木 一	安足土木事務所次長兼管理部長

農政部



参事兼畜産振興課長
谷山 和雄



参事兼塩谷南那須農業振興事務所長
後藤 知昭



農業総合研究センター所長
蓬田 武



農業大学校長
柴田 和幸

職 名	氏 名	前 職 名
農政部参事兼畜産振興課長	谷 山 和 雄	畜産振興課長
農政部参事兼塩谷南那須農業振興事務所長	後 藤 知 昭	生産振興課長
農業総合研究センター所長	蓬 田 武	農政部参事兼下都賀農業振興事務所長
農業大学校長	柴 田 和 幸	農業総合研究センター所長
生産振興課長	齋 藤 寿	河内農業振興事務所長

栃木県人事異動（新任）

環境森林部



部長
岡本 栄二



次長兼環境森林政策課長
長野 辰男



次長
大金 重秀



参事兼県西環境森林事務所長
岡本 和久

職 名	氏 名	前 職 名
環境森林部長	岡 本 栄 二	環境森林部次長兼環境森林政策課長
環境森林部次長兼環境森林政策課長	長 野 辰 男	教育委員会事務局教育政策課長
環境森林部次長	大 金 重 秀	環境森林部参事
環境森林部参事兼県西環境森林事務所長	岡 本 和 久	森林整備課長
環境保全課長	芹 澤 広 行	資源循環推進課審査指導班長
自然環境課長	高 嶋 英 機	環境森林政策課総務主幹
森林整備課長	川 上 晴 代	県北環境森林事務所長

企業局



局長
星野 晃秀



次長兼経営企画課長
武藤 みき子

職 名	氏 名	前 職 名
企業局長	星 野 晃 秀	県土整備部次長
企業局次長兼経営企画課長	武 藤 み き 子	デジタル戦略課長

栃木県が推奨する簡易型で ICTをもっと身近に

現場施工の効率化、合理化そして働き方改革への有効な手段として期待されているICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) ですが、

- ICT機器やICT建機を導入しても費用対効果が出にくい
- ICT導入の予算が限られている
- ICTツールを扱える技術者がいない

等の理由からその利用が大規模な工事や発注者指定型等に限られてしまっています。

そこで栃木県では、いきなり全面的なICT活用工事を実施するのではなく、身近な作業を効率化することで始めてみる、いわゆる簡易型ICTの導入に力を注いでいます。

今回は多くの皆さんが積極的にICTに取り組んでいただけるよう、簡易型ICTの概要の説明と会員会社が実際にICTにより施工を完了させた現場を紹介させていただきます。

簡易型ICTとは

① 3次元起工測量
【選択】

② 3次元設計
データ作成

③ ICT建設機械
による施工
【選択】

④ 3次元出来形
管理等の施工管理

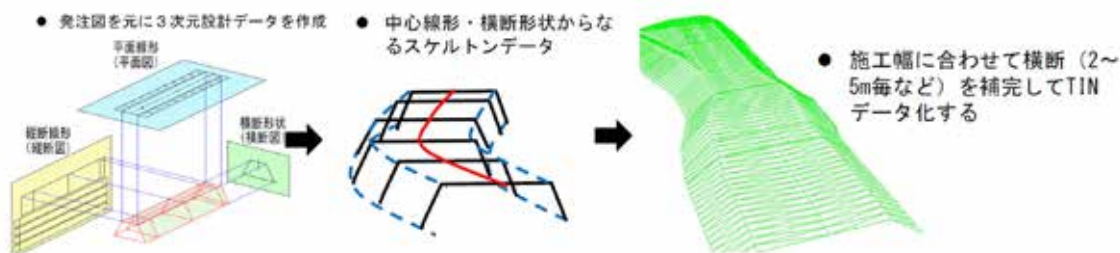
⑤ 3次元データの
納品

簡易型ICTとは上記の②④⑤のみを必須としたICT施工のこと

1. 3次元データを作る

① 平面図・縦断面図で作成

設計図面を専用ソフトに読み込んで、組み立てるように3次元データを作成！真新しいものを作るのではなく、既存図面を1つに組み立てる！



② 座標で作成

直線部等の比較的簡単なデータであれば、Excelを用いて作成することも可能！

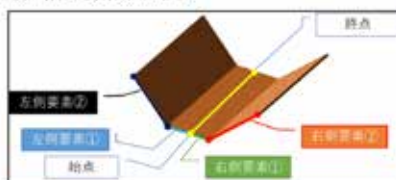
	A	B	C	D	E	F	G	H
1		X	Y	H		幅	比高	
2	始点					右側要素①		
3	終点					右側要素②		
4						左側要素①		
5						左側要素②		

※座標・幅・比高はm単位

始点・終点
中心線の始点および終点の座標を入力します。

右(左)側要素
横断を構成する各要素(辺)の幅と比高を入力します。
比高が+の場合は上、-の場合は下を意味します。

TSXML作成ツール_v2(20190918)



入力例:

	幅	比高
右側要素①	2	0
右側要素②	1	1
左側要素①	2	0
左側要素②	1	1

③TS (Total Station) とスマートフォンで作成

TS や建機を使用して、現地合わせの3次元設計データを作成することも可能！

【活用事例】

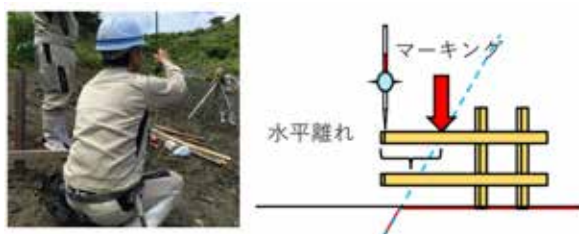
側溝整備工事の床掘り、側溝設置



2. データを活用する

①丁張設置

好きな場所に好きなタイミングで丁張が設置可能！



②構造物設置

側溝やブロック等を効率的に設置可能！
特に曲線部で効果大！



③施工状況確認

定量的な施工指示が可能！

いつでもどこでも設計値と確認できる！



④TS断面管理

TS を用いた出来形計測 (断面管理) により計測作業を効率化！更に、ソフトウェアに取り込めば、帳票の自動作成も可能！



(栃木県HPから引用)

なお、栃木県では国の重点支援地方交付金を活用して、ICT活用工事等が実施できる環境を整備できるよう「インフラDXはじめての一步補助金」を令和8年度に新設し、県内建設事業者を支援しています。

ICT活用例

渡辺建設株式会社

Q1. 御社で取り組まれている ICT を活用した工事概要

- ①工 事 名 主要地方道宇都宮向田線板戸大橋下部工建設工事その2
- ②工事場所 宇都宮市板戸町
- ③工 期 令和7年8月25日～令和8年6月30日
- ④工事発注者 栃木県県土整備部
- ⑤工事内容 橋梁下部工
- ⑥ICT が指定型かどうか ICT 活用工事：発注者指定型（全面活用型）



渡辺建設㈱ 現場代理人 小貫拓海

Q2. ICT をどのような工種でどのように使ったか

仮設工、作業土工、構造物工に利用しました。

前回施工した同種工事では、着工前のドローン測量で取得した3次元データを河川の切り回し計画や土工数量の算出に活用しましたが、新たにTSを用いたマシンコントロール施工、構造物のCIMモデル作成、ARを活用した完成のイメージ共有、レーザースキャナによる出来形・出来栄評価を実施しました。

今回の工事では、TSによるマシンコントロール施工やCIMモデル作成、レーザースキャナによる出来形管理を継続して実施しました。さらに、AR技術を活用した構造物の出来栄確認を行うとともに、高校生を対象とした現場見学会で完成形の可視化を実施し、建設業の魅力発信や担い手確保にも活用しました。

Q3. ICT 活用のメリットと問題点

ICT活用により、測量や施工管理の効率化、施工精度の向上、出来形管理の省力化を図ることができました。また、CIMモデルやAR技術を活用することで、構造物の完成形や施工内容を視覚的に共有でき、関係者との合意形成や高校生向け現場見学会での建設業の魅力発信、担い手確保にも効果がありました。

一方で、3次元データやCIMモデルの作成には専門的な知識が必要であり、ICT機器やソフトウェアの導入・維持にもコストを要します。また、ICT技術により作業が効率化されたとしても、正確なデータ作成や施工判断を行うためには、構造物や施工方法に対する理解など技術者としての知識と経験が不可欠であると感じました。

Q4. ICT 工事を担当しての感想

弊社では令和5年より土木部内にDX推進チームを設置し、ICT施工やCIMに関する測量、3次元データ作成などの内製化を進めるとともに、それらを担う人材育成に取り組んでいます。

私自身も新技術を学びながら業務に携わってきましたが、ICTを有効に活用するためには、従来からの測量技術や施工管理技術、構造物に関する知識も同様に重要であることを実感しました。ICTは業務の効率化や品質向上に大きく貢献する一方で、その効果を最大限発揮するためには技術者としての基礎技術と経験が不可欠であると考えています。

今後は、新技術と従来技術の両方を習得した人材の育成が重要な課題であり、ICT活用の推進と併せて技術の継承にも取り組んでいきたいです。



TS-MC施工状況



3次元データを利用した仮設計画



出来栄評価AR画面キャプチャ



ARを利用した完成イメージ共有

Q1. 御社で取り組まれている ICT を活用した工事概要

- ①工 事 名 令和7県営経営体基盤大谷東部第2工区圃整工事
 ②工事場所 小山市武井地内
 ③工 期 令和7年9月25日～令和8年5月29日
 ④工事発注者 栃木県下都賀農業振興事務所
 ⑤工事内容 圃場整備工事（整地工 6.02ha、用水路工 865m、排水路工 879m、道路工 519m）

⑥ICT が指定型かどうか ICT 活用工事対象外



株式会社 斉藤組 現場代理人兼監理技術者 藤井優希

Q2. ICT をどのような工種でどのように使ったか

本工事はICT活用工事の対象ではありませんでしたが、施工効率の向上を目的としICT施工を自主的に活用しました。ICT施工を行うにあたり点群測量から3次元設計データの作成までを自社で行い、排水路工における圃場用土水路(360×150支排-1、310×150支排①②③、300×150小排、250×100小排)計6路線、総延長879mの掘削施工を実施しました。

掘削作業にはバックホウ0.45m³に三角バケットを装着して施工を行い、1回の掘削で水路敷および法面整形まで同時に仕上げました。(施工能力は約100m/日程度でした)

Q3. ICT 活用のメリットと問題点

従来施工では、一次掘削後に丁張を設置し、その後再度仕上げ整形(法面整形)を行っていましたが、今回はICT施工を活用したことで丁張が不要となり、設置と確認作業に要する時間を削減することができました。また、掘削と仕上げ整形(法面整形)を一工程で行うことが可能となり、施工効率の向上および全体作業時間と施工準備時間の短縮につながり、加えて、丁張作業や測量作業の負担軽減による省人化を実現しました。

また、監督の現場準備作業時間(測量・丁張)が縮減されたことで、翌日の段取りや打合せ資料等の書類作成に時間を充てることができ、残業時間の削減と作業効率向上による工程短縮により、週休2日制工事において4週8休の達成にもつながりました。

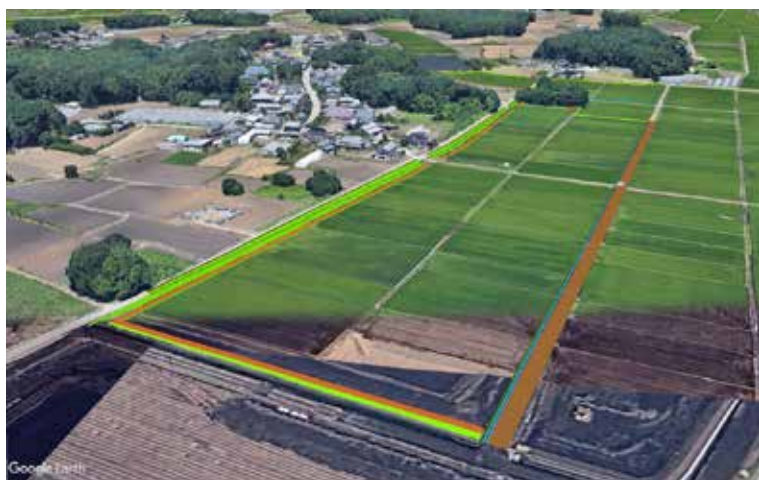
Q4. ICT 工事を担当しての感想

本工事はICT活用工事の対象外でしたが、自社にて測量から設計、施工まで一貫してICT施工を実施したことで、施工効率の向上に大きな効果を実感することができました。

特に、従来必要としていた丁張設置や確認作業を大幅に削減できたことで、施工準備時間の短縮や省人化につながり、3D設計データを用いて打合せをすることで完成のイメージが共有でき、現場ではオペレーターが主体となり効率良く施工を進めることができました。

また、現場作業時間に余裕が生まれたことで、翌日の施工段取りや打合せ資料等の書類作成に時間を確保でき、残業時間の削減、工程短縮により週休2日制工事の達成にもつながりました。

今後もICT技術を積極的に活用して業務の簡素化と省力省人化を図り、さらなる施工効率の向上と品質確保に取り組んでいきたいと思っています。



3次元設計データ



排水路工 圃場用土水路 ICT掘削状況 360×150支排-1



排水路工 圃場用土水路 ICT掘削状況 360×150支排-1

ICT活用例

株式会社 生駒組

Q 1. 御社で取り組まれている ICT を活用した工事概要

- ①工 事 名 道路改良工事 400 号西赤田その1 (快安道補)
- ②工事場所 一般国道 400 号 那須塩原市西赤田
- ③工 期 令和7年 10月 15日～令和8年 10月 7日
- ④工事発注者 栃木県大田原土木事務所
- ⑤工事内容 工事延長 L=177.50m 掘削 (ICT) 2,200 m³
下層路盤 (車道・路肩部) (ICT) 1,109 m³
- ⑥ICT が指定型かどうか ICT 活用工事: 発注者指定型 (全面活用型)



(株)生駒組 現場代理人 真殿礼貴

Q 2. ICT をどのような工種でどのように使ったか

【施工済み】

3D起工測量 移動型レーザースキャナー
掘削工 VRS-RTK-GNSS(ネットワーク型)マシンコントロール バックホウ
3D出来形管理 移動型レーザースキャナー

【未施工】

下層路盤工 TS(自動追尾トータルステーション)マシンコントロール モータグレーダ
3D出来形管理 移動型レーザースキャナー

Q 3. ICT 活用のメリットと問題点

起工測量を3D化することで現地に行かなくてもある程度の計測ができる。
設計との比較で土量を算出することができて、横断図との相違がわかる。
ICT施工の準備や書類等の作成に時間が取られる。慣れによって改善は見込まれるが、従来工法よりはパソコンの前にいる時間は長くなる。
ICT建機の数が少ないことやソフトや建機のリース価格が高い。

Q 4. ICT 工事を担当しての感想

今回は道路拡幅工事で、前回の河川工事と比較すると現場でのICT施工の難しさが多く感じられました。現道拡幅のため、部分的に掘り終わるとスキャナーをかけるため回数が増えることや民地側のミラーに反射して撮影に支障がでることがありました。
掘り進める途中で高さの確認作業が減ったことや丁張の数も通常よりも少なく済みました。
掘削出来栄は土が多いところだったため良いほうでした。
現場によってICTを活用することで効率が上がる現場や効率があまり上がらない現場があるので、よく理解した上で判断が必要だと思いました。舗装工の下層路盤に関しては、6月初旬現在未施工になります。



バックホウ内モニター



出来形測量 タブレット



路床掘削状況



地上型レーザースキャナー 出来形測量

令和8年度「経営者講習会と通常総会」開催

栃木県建設業協会青年経営者連合会

6月15日、栃木県建設業協会青年経営者連合会（青経連）の経営者講習会と通常総会がホテルニューイタヤで開催されました。

経営者講習会は2部構成で開催され、第1部は燈株式会社の笠原章氏、第2部はNDIソリューションズ株式会社の増田浩和氏を講師に迎え、「人手不足時代に勝つ建設会社のAI経営」、「危険を知り、危険を伝え、現場を守る。建設業のAI実装戦略」をテーマにそれぞれ講演が行われました。



岩澤青経連前会長

その後開催された通常総会では、岩澤青経連会長から「建設業界を取り巻く環境が大きく変化する中、経営者が自ら学び、新たな知識や技術を経営に活かしていくことが重要である。今後

後も次世代への魅力発信や、行政・発注者との意見交換などを推進し、青年経営者ならではの発想と行動力で業界と地域の未来を切り拓いていきたい」と挨拶がありました。

続いて、来賓の谷黒協会長から「深刻化する担い手不足の中、次世代へ建設業の魅力を届ける『建FES GO!』の取り組みは大変心強い。一段と厳しさを増す業界環境だからこそ、若手経営者の皆様の柔軟な発想と優れた実行力こそが、未来を切り拓く原動力になると確信しており、さらなる研鑽と今後の活躍を大いに期待している」と祝辞がありました。

議事では、令和7年度の事業として、職業体験を通じて子どもたちや保護者に建設業をPRするイベント「建FES GO!」や、「とちけん小町による魅力発信プロジェクト」として、小学生向け防災講話・建設業体験会の開催、土木事務所や自民党青年局との意見交換会などが報告されました。続けて令和8年度の事業計画として、「建FES GO!」や各団体との

意見交換会の継続開催に加え、「全国・関東建設青年会議」への参加、「北関東三県合同会議」の開催など、各種活動に積極的に取り組んでいくことが説明されました。

また、本年は役員改選期にあたり、新執行部として、会長に上澤宏行氏（鶴見建設㈱・芳賀支部）、副会長に津野田哲氏（㈱津野田土木・宇都宮支部）と飯野敦司氏（㈱中津工業・鹿沼支部）、幹事長に船山浩司氏（船山建設工業㈱・塩谷支部）、副幹事長に亀田好人氏（三陽建設㈱・安蘇支部）が選出されました。新執行部を代表して、上澤新会長から、岩澤会長への2年間の感謝の言葉と今後の活動の抱負が述べられました。



新執行部



建設業の時間外労働

栃木労働局

栃木県の建設業では、県内の全産業で労働時間の抑制が進む一方で、長時間労働の傾向が強くみられます。令和7年の県内全産業の年間総実労働時間は1,666時間、年間所定外労働時間は129時間でした。こうした中、建設業の年間総実労働時間は2,057時間、年間所定外労働時間は270時間となり、いずれも主要産業の中で最も長くなっています。総実労働時間は県内全産業平均を391時間上回り、全国の建設業平均より139時間上回る状況です。

令和6年4月1日から建設業にも時間外労働の上限規制が適用されましたが、年間の総実労働時間数では、令和4年が2,034時間、令和5年が1,968時間、令和6年が2,036時間となっており、令和6年4月からの時間外労働の上限規制適用にもよらず、時間外労働（所定外労働）はむしろ長くなっている状況にあります。

なお、従前より建設業に次いで労働時間が長い業種である運輸・郵便業で令和6年の年間総実労働時間は1,997時間となり、2年連続減少をしています。運輸業については建設業と同様に令和6年4月以降、時間外労働の上限規制が適用されていますが、栃木県の同業種における令和5年から令和7年にかけての労働時間は2年連続一定の減少となっており、業種における労働時間の推移の違いが鮮明となっています。

労働基準法では、労働時間は原則として1日8時間、1週40時間以内とされており、これを超えるには36協定の締結・届出が必要になります。

建設業では、令和6年4月1日から災害時における復旧及び復興の事業を除き、時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間（限度時間）となり、臨時的な特別な事情がなければこれを超えることができません。

臨時的な特別な事情があって、労使が合意する場合で特別条項付き36協定を締結する際であっても

- ★時間外労働が年720時間以内
- ★時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満
- ★時間外労働と休日労働の合計が2～6か月平均80時間以内
- ★時間外労働が月45時間を超えることができるのは年6回まで

を遵守しなければなりません。

近年、長時間労働や仕事のストレスによって、過重な負荷がかかり、脳・心臓疾患やうつ病を発症するケースが多く見られ、心身ともに働き過ぎによる健康障害の問題が深刻化しています。人手不足の中一人一人に係る負担は増加している中であると存じますが、現場の週休二日制の定着、適正な工期設定、発注者を含めた業界全体での協力体制を構築し、働き手を確保して労働時間の削減を進めることが望まれます。

栃木県におけるICT活用工事の普及に関する取り組みについて

栃木県県土整備部技術管理課

1 はじめに

ICT活用工事とは、国において2016年度から、建設現場の生産性向上を目的に推進されている「i-Construction」に基づく取組です。ICT（情報通信技術）を活用し、測量・設計・施工・施工管理・検査までの5工程で、建設現場の省力化・効率化を図るものです。

主な活用手法としては、ドローン（UAV）による3次元測量、ICT建設機械での施工及び3次元設計データを活用した出来形管理などが挙げられ、これらにより、工程全体を3次元データで一体的につなぐ施工が実現されます。



2 とちぎインフラDX構想での位置付けと現状

インフラ分野の業務をデジタル技術により変革し、安全性・効率性・サービスの向上を図るための県の戦略として、令和5（2023）年3月に「とちぎインフラDX構想」を策定しました（令和8年に一部改訂）。本構想では、「ICT活用工事の促進」を重点取組に位置付けており、県発注工事における実施率は令和6年度に28.3%、令和7年度に43.1%（完了工事ベース）と、年々上昇しています。

● ICT活用工事 実績



3 課題と今年度の取り組み

ICT活用工事の推進にあたり、技術力の高い企業が牽引し上昇傾向となっていますが、一方で、未経験者はICT活用工事を敬遠し、技術導入が進む企業と従来手法に留まる企業との間で二極化が進んでいます。

そこで、未経験者によるICT活用を後押しし、実施への「はじめの一步」を踏み出してもらうため、令和8年度に新たにICT関連機器の導入費と人材育成費を対象とした補助制度を創設しました。

令和6年度 ICT活用工事の実績（県内業者数ベース）

	全体	SA	A	B	C
ICT経験済／業者数※	154／1,025	46／53	83／206	24／211	1／555
割合	15.0%	86.8%	40.3%	11.4%	0.2%

※栃木県の入札参加資格（県内）をもつ業者数



4 おわりに

ICTは、皆さんの作業を楽にするための手段です。最初は手間に感じる部分もありますが、現場の実情を踏まえながら一緒に改善していきますので、引き続きご協力をお願いします。



Topics

建設業の魅力を広く発信 ～宇都宮文星女子高生に現場見学会～

【本部】



栃木県建設業協会は令和8年3月12日に宇都宮文星女子高校の2年生を対象に現場見学会を開催しました。この見学会は建設業の仕事の内容や女性が働きやすい環境となっていることなどを、建設業になじみのない高校生にも広く知っていただくことを目的として行われ、今年で2回目の開催となります。

建築は平出工業団地内の「三和生薬」の現場で行われ、担当した渡辺建設(株)建築部の杉浦昂志主任が現場ならびに会社の概要、施工管理の仕事内容等を説明し、3DCADでの図面を見ていただいた後、実際の現場の見学に入りました。



土木では「板戸大橋下部工」の現場を見学し、事業についての説明を受けた後、重機体験やVR、AR体験、測量の体験、ドローン操縦の見学などを実施しました。

昨年実施した見学会でのドローン操縦の印象が強く残っていたことが

きっかけで、本年3月の卒業生で1名が建設業に就職したとのことで、本見学会が建設業の現状を正しく理解していただく良い機会となっていることが確かに感じられました。

(岩原産業(株) 岩原正樹)

都心環状線が全線開通 県庁前亀の甲坂と裁判所前の材木町通りを結ぶ 320m

【宇都宮支部】



通り初め式 (日本工業経済新聞社提供)



令和8年3月28日、宇都宮市小幡・清住土地区画整理事業地内および県総合文化センターで「3

環状12放射道路の概成記念」として記念式典が執り行われました。唯一未開通であった都心環状線(宇都宮日光線・埴田平出線)が、小幡・清住土地区画整理事業の進展により開通したもので、構想から約40年を経て宇都宮市の都市構造を支える3環状12放射道路が全線つながりました。

通り初め式は佐藤栄一宇都宮市長、福田富一栃木県知事、船田元衆議院議員、上野通子参議院議員、関谷暢之県議会議長、岡本芳明市議会議長によるテープカット、関係者によるくす玉開披を行い、ネットワーク型コンパクトシティの形成に大きく寄与する道路の無事完成を祝いました。また、開通式では佐藤栄一宇都宮市長が「3環状12放射道路は将来の宇都宮市の発展を支える強固な土台。最大限に生かしながらLRTの西側延伸を着実に進め、誰もが豊かで安心して暮らすことができるスーパースマートシティの実現に一層取り組んでいく」と挨拶しました。

(岩原産業(株) 岩原正樹)



鹿沼さつきマラソン クリーンアップ作戦

【鹿沼支部】



令和8年5月8日、鹿沼支部員25社が参加し「鹿沼さつきマラソンクリーンアップ作戦・愛ロードとちぎ」を実施しました。本活動は鹿沼市からの依頼により、5月10日に開催される第46回鹿沼さつきマラソン大会を前に、多くのランナーや来訪者を気持ちよく迎えるため、マラソンコース周辺の清掃や安全点検を行うものです。

当日の開会式には松井正一鹿沼市長にご臨席いただき、日頃からの建設業への感謝と、クリーンアップ作戦への激励のお言葉を頂戴しました。今年の大大会には約7,000人が参加予定であり、全国から多くのランナーが鹿沼市を訪れるとのことです。



開会式終了後は4班に分かれ、コース沿線の除草やごみ拾い、道路の安全確認を実施しました。地域の皆さまに安全・安心な道路環境を提供することも、建設業の大切な役割であることを改めて実感する活動となりました。

(株)安中建設 荻村真紀

情報伝達訓練を実施

【日光支部】



日光支部では、災害対応力強化を目的に、建設市場整備推進事業補助金を活用してドローン及び電子ホワイトボードを導入し、令和7年12月20日に情報伝達訓練を実施しました。訓練には正副支部長、理事、技術委員など16社24名が参加しました。



訓練では、集中豪雨により国道120号いろは坂付近での土砂流出、国道122号足尾地区での法面崩壊、赤堀川の護岸流出が発生したとの想定のもと、ドローンによる危険箇所の確認や電子ホワイト

ボードを活用した映像共有、情報収集を行いました。

今回導入したドローンは、平成29年に購入した既存機の老朽化及び修理対応終了に伴い更新したものです。また、電子ホワイトボードはカメラやマイクを内蔵し、従来より容易にオンライン会議を行うことが可能となりました。

訓練を通じて各機器の有効性と機能性を確認することができました。今後は防災訓練や実際の災害対応に積極的に活用し、迅速な情報共有と復旧活動につなげていきたいと思っています。

(株)阿部工務店 阿部弘道



支部創立 100 周年 記念イベントの開催

【芳賀支部】



令和 7 年 11 月 8 日、支部創立 100 周年を記念して「建設業と未来にはばたく子どもの広場」を開催しました。地域の園児たちに建設業への理解と親しみを深めてもらうことを目的に、建設車両のお絵描き大会と建設機械乗車体験、飲食コーナーを組み合わせた催しとなりました。

まず、芳賀建設会館駐車場に展示した建設車両を画用紙いっぱい描いてもらいました。作品は後日、外からも見られるように会館ロビーに展示したところ、子どもらしい自由な発想で描かれた働く建設機械の姿に、足を止めて見入る大人の姿もありました。

建設機械の乗車体験では、バックホウの運転台に初めて座った子どもたちからは「大きくてかっこいい」といった声が聞かれ、建設業に対する憧れや関心の高まりが伺えました。一方、高所作業車の搭乗体験では、園児より保護者のほうが楽しんでいるようでした。

また、焼きそば、ポップコーン、水ヨーヨーなどの模擬店も出店し、親子で飲食を楽しみながらゆったりと過ごせる場を提供しました。

多くの家族連れでにぎわい、地域に開かれた 100 周年事業として一定の成果を収めることができました。



(鶴見建設(株) 上澤宏行)

巴波川捷水路工事 親子で見学会

【下都賀支部】



令和 8 年 5 月 30 日、栃木土木事務と永野川・巴波川改良復旧工事等安全協議会および奥村・岩田地崎特定建設工事共同企業体による、一級河川巴波川地下捷水路本体建設工事の第 2 回現場見学会を開催しました。

午後の部では親子見学会として、小中学生とその保護者 100 名が参加し、普段は見ることのできない捷水路内部を 1 km 歩くという貴重な体験内容でした。



参加者はヘルメット・説明を聞きやすくするイヤホン装着し、工事内容について奥村組の担当者によるモニターを使った丁寧な説明を受けて体験スタート。



立坑の深さや工事用エレベーターなどに子どもたちは興味津々な様子でした。



捷水路内を歩くと、参加者は「すごいね!」「探検してるみたいだね!」など盛り上がり、大規模工事の迫力を感じている様子でした。

見学会の最後にはセグメントへのお絵描きイベントを実施し、親子で楽しそうに絵を描く姿も見られました。

見学会後の参加者に感想を聞くと「トンネルが広くて迫力がすごかった。」「自分もこういう仕事をしてみたい」「この水路で災害が減れば嬉しい」など、実りある体験だった様子で、今後の建設業の未来にもつながる充実した見学会になったと思います。(㈲町田建設 臼井祐輔)



水防及び地震情報伝達訓練実施 (道路河川等管理情報システム使用)

【塩谷支部】



塩谷支部対策本部情報確認

令和8年6月11日、塩谷建設会館で水防及び地震情報伝達訓練を実施しました。塩谷支部、矢板土木事務所、建設コンサルタンツ協会関東支部合同により約60人が参加し、道路河川等管理情報システムの操作や災害発生時における初動対応の情報共有体制を確認しました。

局地的豪雨で矢板市、さくら市、高根沢の一部の河川で氾濫注意水位に達し、さくら市で震度5強を観測したと想定し、訓練が行われました。矢板土木事務所長から渡邊支部長にパトロール実施と状況報告の指示要請があり、支部の現場担当者が4市町37カ所の河川及びさくら市の5橋梁の状況を撮影して管理情報システムにより送信、現場担当者からの伝達と対策本部の情報収集も円滑かつ効率的に行われ、情報の共有化を図ることができました。



矢板土木事務所対策本部情報確認

訓練を通じて、関係機関相互の情報共有手順の再確認が図られたほか、災害発生時における迅速な初動対応の重要性を改めて認識することができました。

今後も継続的な訓練を実施し、より実践的な災害対応能力の向上を図るとともに、地域住民の安全確保に向けた防災体制の強化に努めていきたいと思います。

(友建工業(株) 小菅秀樹)

稚魚放流 (地域貢献)

【那須支部】



令和8年4月21日、大田原市黒羽地内の那珂川で6月の鮎釣り解禁に向けた「鮎の稚魚放流」が行われました。



本年は黒羽小と川西小の児童・教職員合わせて56名の参加があり、子どもたちが命・自然の大切さや、環境への関心を高めると同時に建設業への興味を少しでも持つため実施しました。那珂川北部漁業協同組合からの増殖依頼もあり、漁協

と連携し地域貢献の一環として放流事業に協力を行っています。

今回放流された稚魚は那珂川天然遡上アユから採卵されたF3(三代目)となっており、約1万匹が放流されました。

那珂川の鮎は地域の観光資源としての要素も大きく、地域の活性化に少しでもお役に立つものと考えております。

子どもたちと一緒に放流事業を行うことは、環境を大切にし、地域の発展、雇用を創出する建設業の役割をPRする良い機会と捉えております。

(株)館林工業 館林貴之)



大規模災害を想定した 合同情報伝達訓練に参加

【安蘇支部】



安蘇支部は令和8年5月27日、栃木県が実施した「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する合同情報伝達訓練」に参加しました。

訓練は、佐野市で震度6強の地震が発生したという想定のもと、道路、河川、砂防、上下水道施設などに被害が発生した場合の情報共有や連携体制の確認を目的として実施されています。



支部は、一級河川秋山川で大規模な斜面崩壊による河道埋塞が発生した想定において、ドローンを活用した被災状況確認の役割を担当しました。現地上空から撮影した映像を関係機関へ共有し、被害の規模や状況を迅速に把握するための情報提供を行いました。

災害発生時には、現場の状況をいち早く正確に把握し、復旧活動につなげることが重要です。特に近年は、ドローンによる空撮が安全かつ効率的な情報収集手段として活用されており、建設業に求められる役割もますます大きくなっています。支部では、今回の訓練で得られた経験を生かし、関係機関との連携強化と地域の防災力向上に引き続き努めてまいります。

(岡田土建(株) 石澤洋幸)

ICT 講習会の開催

【足利支部】



これまで、足利支部では地元の晃洋設計測量(株)との業務委託契約に基づき、ドローンやICT等を積極的に活用するための取り組みを進めてきました。

その一環として、令和5年度から6年度にかけて支部独自の講習会を開催し、すべての会員企業にドローンの国家ライセンスである「二等無人航空機操縦者技能証明」を取得していただきました。

さらに、今年度は6月から10月にかけて、ドローンやICTを活用した測量、設計データ作成、出来形管理等の講習会（全4講座、1講座につき同様の内容の講習会を2回開催）を開催します。その1回目として、6月16日(火)及び18日(休)には総勢37名の方々に對し、講義形式の座学「ICT施工の概要」、実習形式の実地講習「GNSSやレーザ機器を使用した測量実習」を実施しました。



引き続き、会員企業の皆様とともに、各種業務にドローンやICT等を積極的に活用できるよう努めてまいります。

(三興工業(株) 山根良樹)



を活用しよう！

そのサポート・支援、活用しないともったいない！

● 能力評価申請手数料の全額支援

- ▶ 本財団は、能力評価申請手数料を時限的に全額支援しています。
申請には期限がありますのでご注意ください
- ▶ 能力評価申請には、**詳細型でCCUS技能者登録**し、CCUSに保有資格情報を登録。
さらに、所定の期間の就業履歴を有している必要があります

■こちらで、能力評価の全額支援及び能力評価申請のサポートメニューを確認。

- 能力評価申請
手数料の全額
支援について



- 技能者登録と能力
評価手続きの同時
申込について



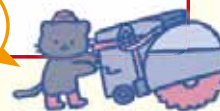
- 簡易レベル判定サイトや解説
動画、CCUS応援団の特典
などのサポートを集約



● 経歴証明書が使える能力評価申請は、2029年3月31日までです！

- ▶ CCUS利用環境が整うまでの就業履歴については、所属事業者等によって作成された経歴証明書で評価することが可能ですが、評価対象となる期間は、2024年3月31日まで。
経歴証明書による能力評価申請は、2029年3月31日までです

くれぐれも
お間違い
なきよう



● CCUS運用実践セミナー好評受付中！

- ▶ PC・Web環境が整った教室で受講する対面体験型セミナーで、**参加は無料です**
- ▶ CCUSへのログインから、現場登録、施工体制登録など基本的な**操作を実体験**
- ▶ **メイン講師はCCUS認定アドバイザー**が務め、補助講師が一人一人をサポートします

● CCUS現場運用リモート相談会、はじめました！

- ▶ CCUS運用実践セミナーに参加経験のある方限定で、運用や操作に関する問題解決を図る「CCUS現場運用リモート相談会」を新たにはじめました。月2回1日3組、先着順で受け付けます。
1組1時間ていねいに個別対応する相談形式です

■いずれも、実施予定・申込はこちらから。

- CCUSホームページを検索

建設キャリアアップシステム
<https://www.ccus.jp/>

- 「お知らせ」から以下をクリック



お知らせは、ホーム
ページの中段にあ
ります。左から三つ
目のボタンです

- 説明・サポート個別項目へ

CCUS運用実践セミナー
CCUS現場運用リモート相談会



2026年度も
実施予定



東日本建設業保証グループ会社（KKS）からのご案内

工事の出来高に応じた融資を利用してみませんか？

新たな資金調達手段をお考えの方に…

KKS出来高融資のご案内

～国土交通省 地域建設業経営強化融資制度～



よく利用されるケース

当該工事の資金繰りを何とかしたい！

保証人・不動産担保は不要です！

工事請負代金債権を担保とするので、保証人を立てたり、不動産を担保とする必要はありません。

既存の融資枠とは別の資金調達手段を確保したい！

新たな資金調達手段を確保できます！

お取り引きしている金融機関の融資枠に影響することなく、新たな資金調達手段として利用できます。

竣工金の受取りまで時間がかかりそう！

工事代金の入金遅れを解消できます！

資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立て易くなります。また、竣工金入金によって融資の返済を受けたものとしますので、余分なコストがかかりません。

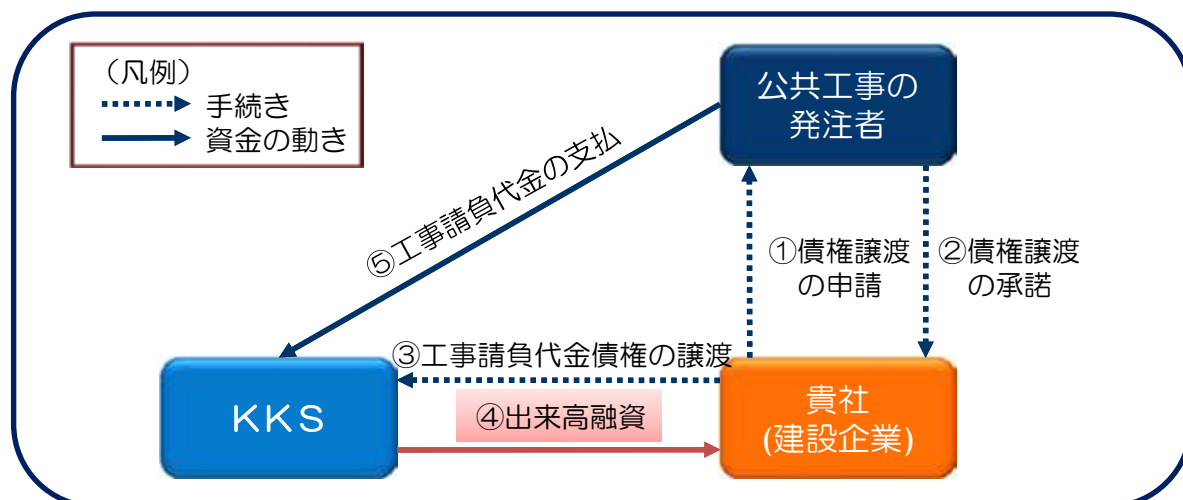
経営事項審査の評点をアップしたい！

経審上も有利です！

出来高融資での借入金は、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます。

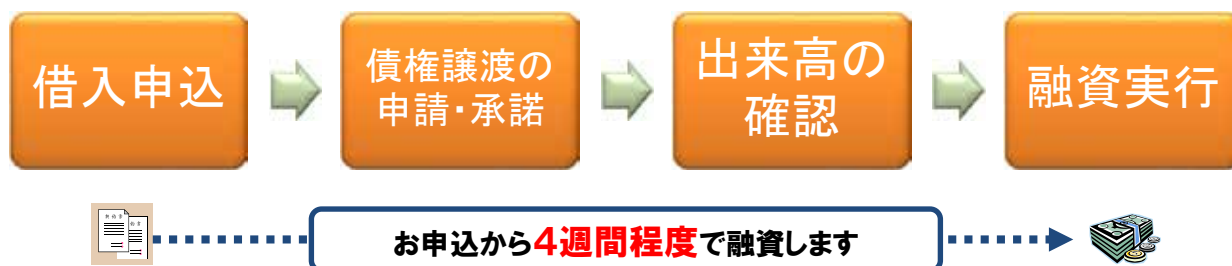
KKS出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権（以下、工事請負代金債権とします）を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。





お申込から融資実行までの流れ



ご利用の留意点

- ※ 基準金利は年2.4%です(但し基準金利は、金融情勢により変動することがあります)。
- ※ 融資時には、利息のほかに、事務手数料、出来高査定費用(実費)、手形貸付に係る印紙、法人の印鑑証明書等の費用がかかります。
- ※ 事務手数料については、一律11,000円(税込)です。ただし、同一工事で複数回の融資をご利用の場合は、2回目以降7,700円(税込)です。
- ※ 出来高査定費用は工事内容や工事場所等に応じて変動します。



ご利用いただける発注者の例

- 【国】 国土交通省、農林水産省、文部科学省、防衛省
- 【独立行政法人】 東日本高速道路(株)、都市再生機構、水資源機構
- 【地方公共団体】 栃木県、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、那須塩原市、さくら市、下野市、上三川町、那須町、壬生町、芳賀町

制度に関するお問合せ先 ⇒ 東日本建設業保証(株)栃木支店 028-639-2388
お申込に関するお問合せ先 ⇒ (株)建設経営サービス 金融第二部 03-3545-8523

詳しくはWEBで

KKS出来高融資

検索

www.kks-21.com



発行人・お問合せ先

KKS 株式会社 建設経営サービス

貸金業登録番号 関東財務局長(6)第01480号
URL <https://www.kks-21.com>

金融第一部

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12
TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部 宮城営業所 愛知営業所

東京都中央区築地5-5-12 TEL 03-3545-8523
宮城県仙台市青葉区支倉町2-48 TEL 022-262-8622
愛知県名古屋市東区武平町5-1 TEL 052-962-3525

一般社団法人 栃木県建設業協会 推薦

栃木県内の電子入札用ICカードは

アオサイン

AO Sign サービス

お問い合わせ先

ndn 日本電子認証株式会社 〒104-0045
TEL 0120-714-240 東京都中央区築地5-5-12 浜崎高建設プラザ3F
<https://www.ndnsho.co.jp/index.html>

東日本建設業保証株式会社 栃木支店 〒321-0933
TEL 028-639-2388 栃木県宇都宮市築港町1958-1 栃木県建設産業会館3F
FAX 0120-027-316

信頼の発行実績

累計発行枚数は69万枚突破!

スピード発行

申込書類到着後、5営業日以内に発行!(不備がない場合)

豊富なラインアップ

有効期間1年+30日~5年までの5種類をご用意!

はじめてお申込みの企業様限定「アンケートご回答特典 初回とく割」実施中!

日建学院は開講以来、建築士、宅建士、各種施工管理技士合格者輩出のトップを走り続けます。

合格者輩出数55万人突破!

業界実績

No.1

建築士講座

総合満足度
顧客満足度 **No.1**

リピーター満足度
使用教材の満足度
カリキュラム充実度
価格の満足度



設備体制学習環境の充実度
職員の対応サポート力
担当者の最適なコース提案力
感染対策の満足度

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2021年9月期_顧客満足度調査

10冠達成の資格学校です!

人材開発支援助成金 92% を 受講料の最大約 助成!

※上記日建学院宇都宮・小山校2級建築施工管理技士一次・二次講座を利用した場合(20人以下の中小建設事業主)。

※助成金のご利用条件がございます。詳しくは日建学院宇都宮校までお問い合わせ下さい。

日建学院 主要開講座

- 1級土木施工管理技士
- 2級土木施工管理技士
- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 1級管工事施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 給水装置工事主任技術者
- 1級建築士
- 2級建築士
- 宅地建物取引士
- 建築設備士
- 他多数



あなたの夢、応援します。

日建学院

宇都宮校 TEL:028-637-5001

小山校 TEL:0285-31-4331

建設業のみなさんへ

従業員を
守れる会社が
これから、きっと強くなる!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

建設業退職金共済制度は、
建設業界の人と企業の未来を見据え、国がつくった退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子ポイント方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
任意組合で加入できる!

建設業退職金共済制度

詳しい情報は
こちら

建退共



<https://www.kentaikyo.tais yokukin.go.jp/>



独立行政法人勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 TEL 03-6731-2866

建退共栃木県支部 〒321-0933 栃木県宇都宮市薬瀬町 1958-1 TEL 028-639-2611

安心を、未来への希望に。

新設 保険金区分

最高

**7,000万円
に増額**

(従来5,000万円)

契約者
割戻金制度により
**掛金負担
が軽減**

経営事項審査
において
**15点の加点
になります**

法定外労災補償制度 諸費用補償 (企業防衛)

建設共済保険

さらに新しくなった!
建設共済保険制度の

**10の
ポイント!**

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

Q 検索

詳しくはホームページをご覧ください



公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階

■取扱機関：一般社団法人栃木県建設業協会

〒321-0933 宇都宮市薬瀬町1958-1

Tel. 028-639-2611 Fax. 028-639-2985

現場が見えると、 仕事が変わる。

小さな事から始められる、福井コンピュータの建設DXソリューション。

業務の一つひとつを3D・ICT化し活用していくことで、現場の省力化・効率化が実現し、生産性を飛躍的に向上させることができます。福井コンピュータでは、建設業界が抱える課題をICT技術で解決し、日本のインフラ整備を支えてまいります。

●背景イメージデータ提供：カナツ技建工業株式会社（島根県）

福井コンピュータ株式会社 北関東営業所／埼玉県さいたま市北区本郷町784

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・愛知・福岡・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●製品情報・カタログ請求・各種お問い合わせは

[福井コンピュータグループ総合案内]

0570-039-291 <https://const.fukui-compu.co.jp>

製品情報

許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」

**建設業許可・
経営事項審査
電子申請システム
(JCIP)**

許可・経審
申請データ出力

そのまま
登録できる!

無料

許可・経審・分析申請書
作成ツール

**なんでも経審
Plus**

なんでも経審Plusを使うと…

- ▶ JCIPへの申請データを作成できます! ※JCIP(建設業許可・経営事項審査電子申請システム)
- ▶ JCIPから取り出した前回データも取り込めます!
- ▶ 経営状況分析申請用データも作成可能。そのまま電子申請するとお得に!

※一部の行政庁では、令和5年1月からの電子申請受付はできませんのでご注意ください。

登録経営状況分析機関
登録番号 1

お問い合わせ

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

TEL 011-222-2688
TEL 03-6661-7427
TEL 03-6661-7214
TEL 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階

詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または **なんでも経審Plus** **検索**

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO 27001)の認証を取得しています。

完全無料 / 全国様式対応

wisePDS

かんたん書類マネージャ

令和8年
7月改正

最新経審対応

☑ 経審・建設業許可申請書類作成

☑ 評点シミュレーション

☑ 分析電子申請

ホームページから今すぐダウンロード!

ワイズ公共



ワイズ公共データシステム株式会社

本社：〒380-0815 長野市田町 2120-1 TEL:026-232-1145



栃木県の 毎朝 10分^レで
建設情報に
強くなれる



公共工事情報

県内の建設計画や工事情報をいち早くお伝えします。



入札・落札情報

入札結果・予定・公告情報を最短で翌日に掲載します。



最新業界情報

建設関係団体の事業活動、企業の取り組みを網羅。

1カ月
お試し
無料

栃木建設新聞
火曜日～土曜日発行

1カ月
(税込)
8,100 円

(原則として半年ごとのご契約となります。6カ月契約=48,600円(消費税込) 1年契約=97,200円(消費税込))
※軽減税率8%の対象商品です。



株式会社 日本工業経済新聞社

宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階
営業時間 平日9時～18時

お問い合わせ

028-634-0141



HPはこちら

・私たちは安全を優先します・

建災防会員は、労働災害防止に積極的に寄与する企業として、
関係行政や発注者から高い評価が得られています。



建災防

建設業労働災害防止協会栃木県支部

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1 栃木県建設産業会館1階

TEL 028-639-3133 FAX 028-639-3806

URL <https://www.kensaihou-tochigi.jp/>

積算資料と追加資料のデータベースをWeb経由で検索・出力

積算資料電子版

無料体験版のご利用はこちら⇒ [BookけんせつPlaza](#) [検索](#)

年間契約料(税込) **53,460円** / 1契約(毎月更新)

◆【主な機能1】

- 都市を設定して単価を抽出することや、最新の単価を過去の単価と比較表示可能。
- キーワードや分類からの検索機能、変動した単価の絞り込み機能、価格推移のグラフ表示、選択した単価をダウンロードしてExcelなどで利用できるなど、便利な機能を多数備えています。

◆【主な機能2】

- データベースコード付き単価データを6,000点/1契約までダウンロード可能。また、6,000点に満たない場合は1年間繰越が可能。

●お申し込み・お問い合わせは●

一般財団法人 経済調査会 業務部

〒108-0014 東京都港区芝5-34-2 ミタマチテラス
TEL 03-5777-8222 FAX 03-5777-8237

[詳細・無料体験版・ご購入はこちら!](#)
[BookけんせつPlaza](#) [検索](#)

KOMATSU

すべての人に、あらゆる場面で。
追求したのは、使いやすさ。

コマツ栃木株式会社

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38番地12
TEL 028-662-6093 FAX 028-660-0781

宇都宮支店 TEL 028-662-6088
鹿沼支店 TEL 0289-72-1005
小山支店 TEL 0285-28-1682
佐野支店 TEL 0283-21-8859
那須支店 TEL 0287-62-2611

【PC30E-6 電動仕様】

先進のやさしさ、ゼロエミッション
ミニショベルがさらに進化!



栃木県中央生コンクリート協同組合

事務所：〒321-0932 宇都宮市平松本町1140番地1 生コン会館2F
電話：028 (635) 5583 / FAX：028 (635) 5587

渡辺社由共同生コン株式会社 小山レミコン株式会社鹿沼工場
株式会社増渕生コン 小山レミコン株式会社真岡工場
株式会社宝木建材工業 有限会社添谷工業
東武栃木生コン株式会社 株式会社上野生コン
菊一生コン株式会社 有限会社薄根生コン
株式会社五月女生コン鹿沼工場

あなたの「学び」を
あなたの「力」に

土木施工管理／継続学習 (CPDS)

栃木県土木施工管理技士会

〒321-0933 宇都宮市築瀬町1958-1 ■Tel. 028-639-2611 ■Fax. 028-639-2985

会員みなさまへ
～会員みなさまを不測の事故からお守りします～

当協会での「各種保険制度」のご案内

① 第三者賠償事故包括契約保険制度	4月1日より1年間
② 土木工事総合保険制度	8月1日より1年間
③ 建設工事総合保険制度	12月1日より1年間

栃木県建設産業団体連合会
一般社団法人 栃木県建設業協会
TEL 028-639-2611 FAX 028-639-2985
(有)アクト(三井住友海上火災保険㈱代理店) TEL 028-639-2611

お問い合わせ先

 組合員工場を選べば安心です

栃木県南部生コンクリート協同組合

〒323-0062 栃木県小山市大字立木367 TEL 0285-37-1213 FAX 0285-37-2258

大木生コン株式会社 株式会社五月女生コン小山工場
株式会社岡建材店生コン部 ティーエス生コン株式会社小山工場
小山レミコン株式会社小山工場 栃木レミコン株式会社
三洋コンクリート株式会社 株式会社丸新生コン

続
とちぎの
サムライ
vol.34

全国津々浦々
お城めぐりの旅

加藤清正の城

ここ数年、城址歩きをしていると、さまざまな城と歴史に関わることになります。毎回のことですが、自分勝手に書いておりますので、史実と異なる部分があるところはご容赦願います。

(一社)宇都宮建設業協会 木澤喜人

今回は、「勇猛果敢な戦国武将で築城の名手」と言われた、加藤清正がかかわった城について探ってみたいと思います。加藤清正と言えば「攻め込ませず籠城に強くて堅固な熊本城」を築城した武将として誰もが思い浮かべるはず。熊本では現代でも、清正公さん(せいしよこさん)と呼ばれて親しまれているようです。熊本城を築城するにあたり、朝鮮出兵と呼ばれる「文禄の役・慶長の役」で海を越えて戦った時、朝鮮の城は日本の城とは構造が異なり、石垣の技術や防御の仕組みに相違点があり清正にとって大いに勉強になったようです。二度目の朝鮮出兵(慶長の役)で、清正は蔚山(ウルサン)の西生浦倭城(ソセンポウェソン)に陣を構えました。

西生浦倭城

新山広域市文化財第8号
新山広域市新州郡西生浦西生 711一市

西生浦倭城は、文禄・慶長の役の起きた年の翌年である1593年5月から、日本の降参加藤清正が指揮し、石で積み上げた16世紀末の日本式の平山城である。旧江口川の小さな洲を囲み、標高133m高地の山頂に内城を築き、東側の傾斜面を利用し、複雑な構造の2段、3段の副郭を築き、その下に、山の下まで徐々に長く広がる外郭を配置した。城壁の外には2重、3重に堀を掘いた。城郭の全体面積は堀を含め、151,334㎡に達し、堀を除く城郭部の長さ約2.5km、平面上の面積約100haに達し、南北に約230mに達し、南海岸各地に散在する倭城の5、最も巨大である。現在山頂には、高さ約5mの天守台が残り、白の内外郭には多数の井戸の跡地が確認されている。城壁は、外郭の場合、外郭のみで積み上げる内郭式であり、内城は内郭と外郭を全て石で積み上げる夾心式で築造し、傾斜は地面から60°以内である。1594年から西軍大尉が、4回に渡り、ここに数回平和交渉をし、多くの外交的成果を挙げている。1598年、朝鮮の倭寇軍の動向で城を取り囲み、1年後、外郭と争って戦死した。50名の忠臣を祀るため、西生浦倭城を築いたもの、現在は破壊された跡地のみが残っている。西生浦倭城は、文禄・慶長の役直後から1895年までの約300年間の朝鮮水軍の同僚軍制使として使われていた。

◀日本語で書かれた現地の案内板



◀西生浦倭城 大手門跡



◀天守台に上がる石垣が崩れている

清正は要請があった蔚山城の普請を監督していた時、未完成のうちに明と朝鮮の連合軍6万の大軍勢に城を囲まれ、籠城せざるを得なくなってしまいました。兵たちは奮戦し続けたものの、ありとあらゆるものを食べ尽くし、井戸はなく水は雨水頼りで餓死者が続出しました。玉砕寸前までになった時、やっと日本軍が救援に駆けつけてきて、九死に一生を得たのでした。清正はこの時の地獄を見る思いを忘れることはありませんでした。

関ヶ原合戦では東軍についた清正は、徳川家康から小西行長の丘陵地を加増され熊本54万石の大名となりました。1601(慶長6)年に熊本城普請に着手し、6年の歳月を費やして完成しました。敵が攻め込んできた時に備え、櫓49・櫓門18・城門29を造りましたが、そのうち13棟が現存しています。また、熊本城が堅牢である理由の一つに複雑に折れ曲がる通路が挙げられます。石垣を大胆に屈曲させ、徹底的に側面から攻撃を加えられるからです。さらに、朝鮮でつらい思いをした籠城に備え、城内になんと120を超える井戸を掘り、城に立て籠もっても水が確保されるようにしました。そして兵糧攻めに備え、土壁にはかんぴょうを塗り込め、畳には芋茎(ずいき)を編み込みました。籠城で食料が尽きた際のためと考えられています。また、城内には銀杏の木が多く植えられ「銀杏城」という別名の由来になっています。いずれも、籠城時の非常食にと考えて用意されたものです。加えて、熊本城には「昭君之間」という部屋があります。豊臣秀吉の忠臣だった清正は、秀吉の遺児である秀頼に危機が迫ったとき、この部屋にかくまうつもりだったといわれています。



◀熊本城 大天守・小天守



◀行幸橋のたもとにある清正公像



◀尾山8合目の清正公像 H1182m



◀一番好きなアングルです。手前に宇土櫓、後ろに大天守・小天守



折り曲げられた石垣



上の清正公像の所から、熊本城が見えます

熊本城は、1877(明治10)年に西南戦争開戦直前の火災により大小天守ともに焼失しましたが、1960(昭和35)年、鉄筋鉄骨コンクリート造りで再建されました。しかし、2016年に発生した熊本地震で天守閣や櫓、石垣などが大きな被害を受けました。完全修復(復旧完了)は2052年度の予定だそうです。



崩落・倒壊した西大手櫓門あたり



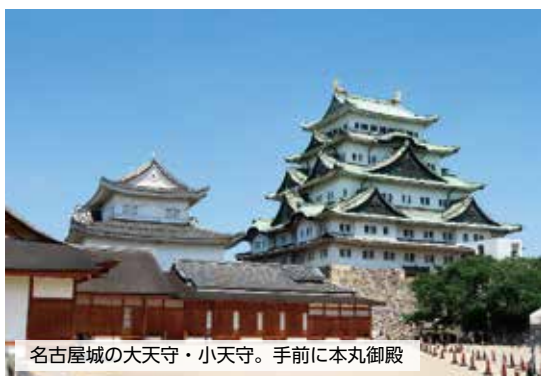
一本足の飯田丸五階櫓



宙に浮いた小天守

秀吉の下で数多くの城を造り、秀吉の没後は家康の下で江戸城、名古屋城などの建設に携わるなど、その腕を發揮しました。しかし、築城の名人として清正の名を広く知らしめたのは、なんといっても熊本城だと思います。次に名古屋城に話題を変えます。

家康は、関ヶ原の合戦に勝利すると、大阪城の豊臣秀頼や、豊臣恩顧の大名を牽制するために、次々と城を新築・大改修して大阪城を取り囲む包囲網を構築しました。東海道上に立ちのどかだったのが名古屋城でした。家康は全国の諸大名が工事を請け負う「天下普請」を命じ、最高の城を築きました。名古屋城は城郭として初めて国宝に指定されましたが、多くの建物が太平洋戦争の戦災で失われました。その後、1957(昭和32)年に再建工事に着手し、鉄骨鉄筋コンクリート造の天守閣を復元し、現在は本丸御殿も再建されました。



名古屋城の大天守・小天守。手前に本丸御殿



清正石



清正公・石曳きの像

本丸東二之門を入った正面には、大きさ約8畳敷、重さ推定10トンとされる巨石があります。この石を清正が運んだという伝承があり「清正石」と呼ばれていますが、この部分の石垣の施工大名は黒田長政だったのでは??



天守台の石垣を仕上げたのは加藤清正



▲石垣の東北隅北面に「加藤肥後守小代下総」と、しっかり刻印が残されています



西の丸から見る、西南隅櫓と天守

ほかにも紹介したい城がたくさんありますが、紙面の都合上また機会があればということにして…。清正が生存している頃は築城だけでなく領地の統治などにも手腕を發揮しました。亡くなる直前まで豊臣家の行く末を案じていた義に厚い武将でした。徳川幕府による豊臣恩顧の大名の改易の中で、1632(寛永9)年に清正の嫡男忠広が改易され、熊本54万石から出羽庄内酒井家に預けとなり、1万石で丸岡城に居館を構えました。その際に忠広は清正の遺骨をひそかに運び出し、居館奥庭の太夫石のもとに保管し丸岡大火の後、天澤寺墓地の五輪塔の元に安置したのです。



丸岡城址



清正の遺骨を隠した太夫石



遺骨を安置した清正閣

秀吉の忠臣として活躍し、秀吉の没後は家康に仕えた清正でしたが、時代の変化とともに奈落の底に突き落とされるような何とも言えなく儚い成り行きでした。《狡兎死して走狗烹らる》の例えのごとし。



Information

[令和8年7月1日現在]

■総会員数 344社

宇都宮 74 鹿 沼 25 日 光 35 芳 賀 30 下都賀 59
塩 谷 34 那 須 42 烏 山 14 安 蘇 17 足 利 14

■代表者変更

〈芳 賀〉松栄建設(株)
江里口 俊介



〈那 須〉(株)館林工業
館林 純平



■退会会員

〈宇都宮〉八幡建設(株) 〈足 利〉増渕建設(株)

■お悔やみ

令和8年3月26日 大島建設工業(株) 〈下都賀〉 代表取締役会長 大島 晋 様 (享年90歳)

令和8年4月29日 金澤建材(株) 〈那 須〉 代表取締役 金澤 勇 様 (享年78歳)



■編集後記

うっとうしい梅雨も明け、暑さ厳しい季節となりました。

「TOCHIKEN」№220では、令和8年度の栃木県建設業協会の役員改選に伴い新役員の方々の紹介、トピックスでは各支部の活動状況を紹介しました。

特集では簡易型ICT活用の紹介をしました。小規模土木工事においてもICT施工の活用による業務効率化、生産性向上、労働環境の改善に積極的に取り組み、働きやすい職場環境を構築し、人材不足の解消を図るとともに建設業が社会貢献の一翼を担えるよう発展することを願います。

さて、広報委員会も新メンバーになりました。これからも魅力ある建設業を発信し、広報活動を行っていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

(広報委員 半貫昌英)

広報委員会スタッフ

担当副会長 (株)齊藤組 齋藤 和実〈下都賀〉
委 員 長 岩原産業(株) 岩原 正樹〈宇都宮〉
副 委 員 長 吉栄工業(株) 吉田 亘〈下都賀〉
副 委 員 長 (株)半貫建設 半貫 昌英〈鹿 沼〉
委 員 (株)山田組 山田 孝〈日 光〉
委 員 鶴見建設(株) 上澤 宏行〈芳 賀〉
委 員 (株)司工業 佐藤 靖輔〈塩 谷〉
委 員 (株)館林工業 館林 貴之〈那 須〉
委 員 鈴木建設(株) 鈴木 雅仁〈烏 山〉
委 員 岡田土建(株) 石澤 洋幸〈安 蘇〉
委 員 岩澤建設(株) 岩澤 賢典〈足 利〉



一般社団法人 栃木県建設業協会 〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1



TEL.028-639-2611(代)

FAX.028-639-2985

URL <https://www.tochiken.or.jp/>

■宇都宮支部／TEL.028-636-5221

■芳 賀 支部／TEL.0285-82-2051

■那 須 支部／TEL.0287-22-2124

■足 利 支部／TEL.0284-71-0044

■鹿 沼 支 部／TEL.0289-65-2020

■下都賀支部／TEL.0282-24-5420

■烏 山 支 部／TEL.0287-82-3161

■日 光 支 部／TEL.0288-54-0140

■塩 谷 支 部／TEL.0287-43-0142

■安 蘇 支 部／TEL.0283-24-3838

けんせつ

令和8年7月1日発行(第220号)
昭和40年4月20日創刊

◆発行／一般社団法人栃木県建設業協会
◆発行人／広報委員長 岩原正樹

◆編集・デザイン／藤崎印刷(株)

電話 028-639-1261(代)

<https://www.tochiken.or.jp/>